

平成29年4月27日 添加物部会 説明資料

一般社団法人日本乳業協会 藤原真一郎・坂口光一

1

一般社団法人日本乳業協会とは？

2000年3月：全国の乳業メーカーをまとめる業界団体、厚生労働省と農林水産省共管団体として設立。

2011年4月：一般社団法人となる。

全国の乳業会社の団体

正会員(20社+44都道府県協会+3団体)67会員、賛助会員(90社)

設立の目的

- ☆酪農・乳業事業の発展
- ☆牛乳及び乳製品の衛生及び品質の向上
- ☆牛乳・乳製品の正しい知識の普及
- ☆国民健康の向上に資すること

2

「調製粉乳」国内生産の動向

農林水産省の牛乳乳製品統計調査によれば、我が国における調製粉乳の生産量は、最近の20年間で約4割減少している。

年次	平成7年	平成17年	平成27年
生産量(kg)	41,240,992	32,037,162	26,309,385

3

「調製液状乳」の課題認識

- 乳幼児用「調製液状乳」について、母乳育児の推進、少子化などによる国内の粉ミルク需要減を背景として、我が国においても新しいに分野に可能性があるとの考えに基づき、消費者の利便性を考慮して、平成21年4月、国に規格化を要望したものの。
- 昨年来、政府においてもその活用が話題となり、また、災害備蓄の有用性から早期の製品化が期待されている現状について、当協会関係会員も十分に認識。

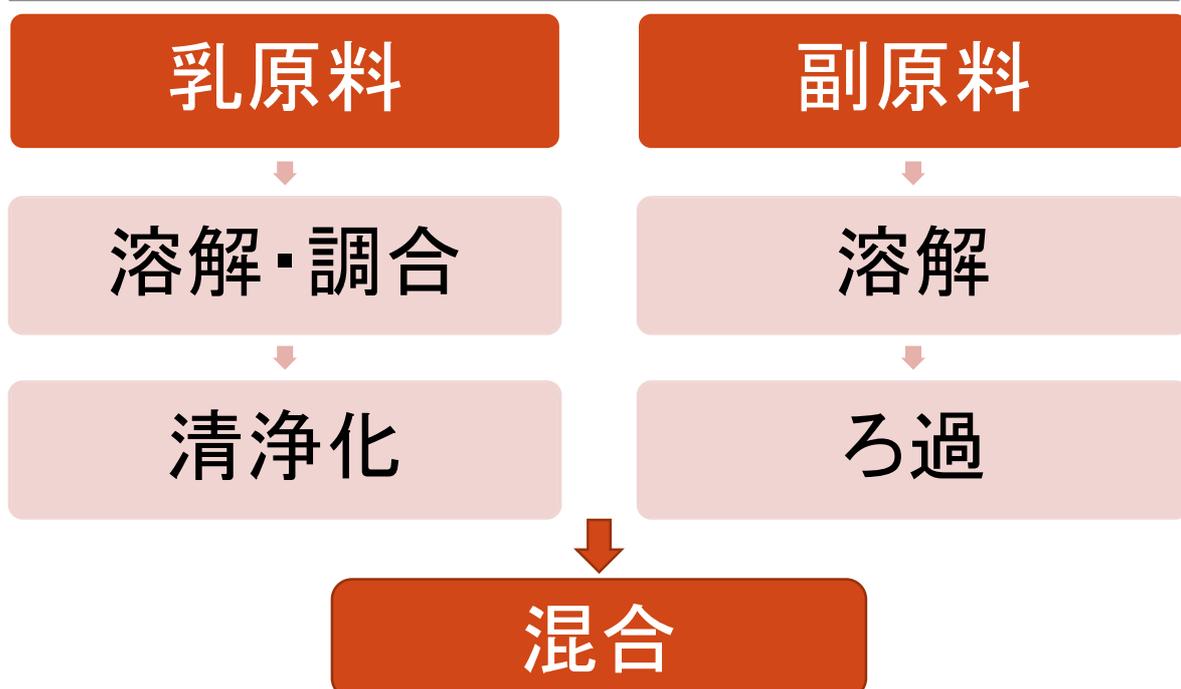
4

「調製液状乳」開発の課題等

- 「調製粉乳」と同様の母乳代替食品として規制上の位置付けが必要となる
- 製品の長期保管を想定した、微生物汚染防止に必要な適切な容器の形状、材質等を選択
- 乳児用食品として、高いレベルでの安全・安心の確保を図る
- 品質面で避けることが難しい、色調、沈殿、成分含量や風味の変化に対応する必要性

5

製造工程の概略

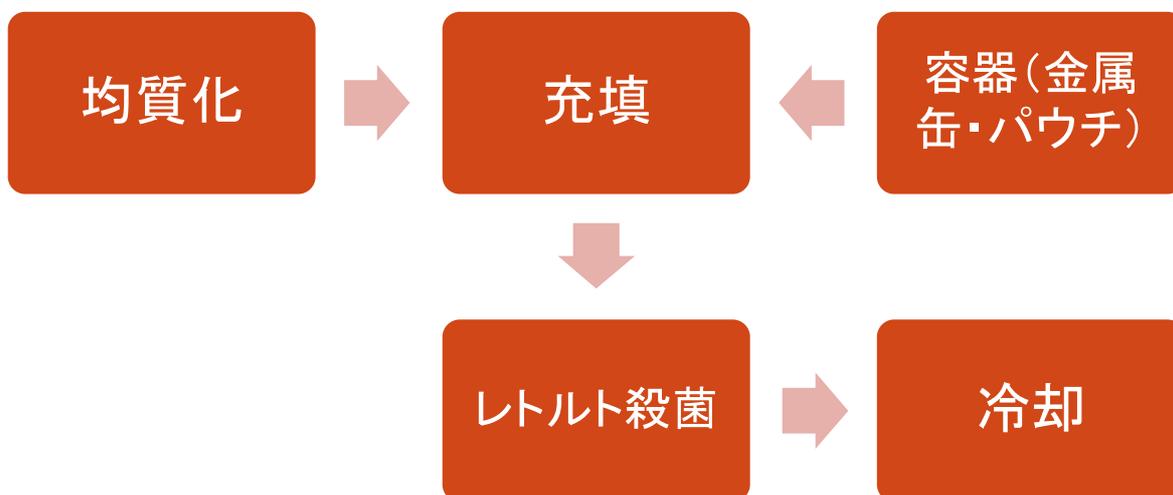


6

アセプティックタイプ



レトルトタイプ



賞味期限、容器包装等の課題

- 常温での製品保管を前提とした賞味期限6か月以上1年程度を想定した保存試験を実施(想定される期間の1.5倍程度の時間を要する)
- 容器の形状、材質等
 - アセプティックタイプ
 - 紙(ロングライフミルク仕様)、プラスチック容器
 - レトルトタイプ
 - 金属缶、レトルトパウチ
- 製品の容量、持ち運び、保管等の制限
- 使い方の注意喚起

9

添加物の使用等

- 栄養強化剤
 - 栄養強化剤の一部について使用基準に規定される「調製粉乳」、「母乳代替食品」に、「調製液状乳」も読み込めるよう追加が必要
- 乳化剤、安定剤
 - 現状の規定の範囲で、沈殿等の防止のために使用
- 健康増進法に基づく特別用途食品の表示許可制度
 - 「調製液状乳」についても「乳児用調製粉乳」同様の表示の許可基準の追加が必要

10